

ぶるペー



携帯電話用



スマートフォン用

ごみ減量3R 特集号

発行：小平市 編集：小平市環境部ごみ減量対策課 〒187-8701 小平市小川町二丁目1333番地 ☎042(341)1211(代表)

◇小平市ホームページ <http://www.city.kodaira.tokyo.jp> ◇電子メール info@city.kodaira.lg.jp ◇小平市携帯電話用ホームページ <http://www.city.kodaira.tokyo.jp/m>

今後のごみの減量や適正処理に向けた一般廃棄物処理基本計画を策定しました

基本理念 こつこつ小平「もったいない」が根づくまち

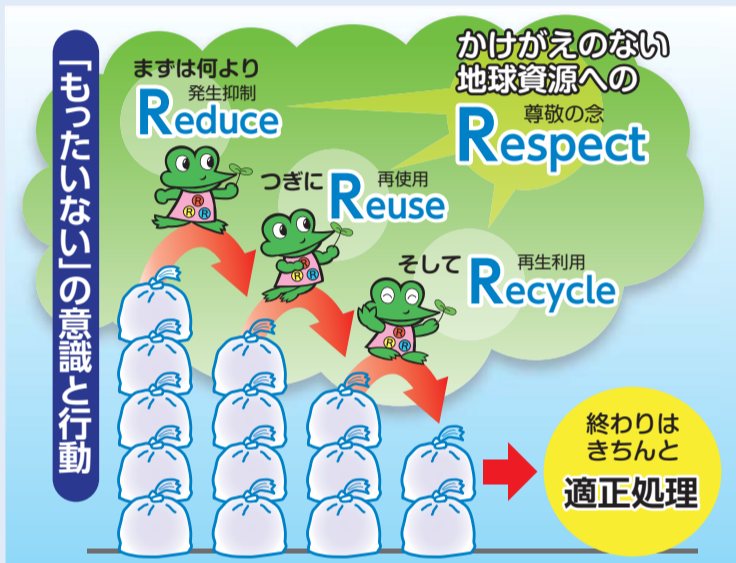
「もったいない」という言葉には、Reduce（発生抑制）、Reuse（再利用）、Recycle（再生利用）の3Rを表すだけでなく、かけがえのない地球資源に対する Respect（尊敬の念）も込められています。こうした意味での「もったいない」が私たちの意識に根づくことが、息の長い減量のための「カギ」と考えます。

3Rとは、何よりも「廃棄物を出さない(作らない)Reduce、出ってしまった廃棄物も「できる限り使い回したり、資源として使う」ReuseとRecycleです。

こうした意識の定着は、なかなか急速には進まないかもしれませんが、市民・事業者の皆さんが3Rに向けた行動を進めていくことと合わせて、こつこつと着実に、私たちのまち小平を、「もったいない」が根づくまちにすることが、将来に向けて大切であるとの認識に立って、これを計画の基本理念としています。



市では、平成34年度(2022年度)までの3Rの推進や廃棄物の適正処理に係るさまざまな施策の方向性などを定める、一般廃棄物処理基本計画を策定しました。



数値目標

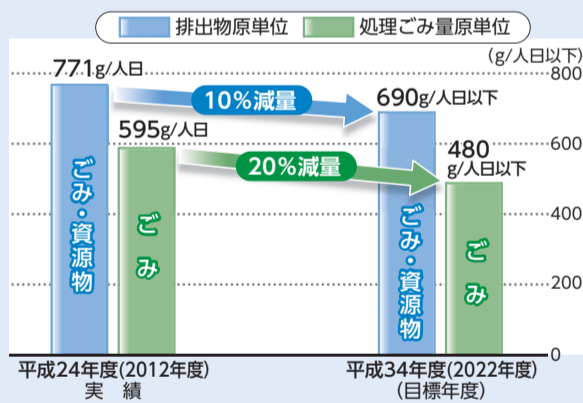
本計画では、「排出物原単位」および「処理ごみ量原単位」に数値目標を設定しています。

市民一人1日当たりごみ・資源物総量(排出物原単位)

市が関与するごみと資源物の総量を、市民一人1日当たりの量に換算したもので、廃棄物の発生抑制を計る数値です。

市民一人1日当たりごみ量(処理ごみ量原単位)

家庭や事業所から排出されるごみ量の合計を、市民一人1日当たりの量に換算したもので、ごみの発生抑制とともに資源化品目の拡大と分別の徹底の効果を計る数値です。



市民・事業者・市の行動

すべての市民や事業者の皆さんの、日頃からの意識と行動が必要です。



ヘラスンジャー

市民

- 無駄なものは買わず必要なものだけを買うように心がける
- 使える物は、最後まで使い切る。食べられる物は、最後まで食べ切る

事業者

- 事業活動における3Rの推進に取り組む
- 物品を購入するときは、再生品などの環境に配慮した物を選ぶ



製造者、加工者、販売業者などとして

- 長期間使用可能な製品の開発
- 包装、容器などの適正化
- 買い物をする市民が、適正な包装、容器などを選択できるようにする

まずは身近なところから



燃えるごみに、丸ごとの野菜や果物、未開封の肉や菓子などが大量に含まれています。多くの食品を輸入している一方で、多くの手つかずの食品が捨てられてしまっています。

市

市は、こうした取り組みが進められるよう、仕組みづくりや働きかけ、支援を行います。

